

# 未来の子どもたちが安心して住み続けられるまち 誰もが住んでみたいまちづくりを目指してまいります。

施政方針 ※3月1日表明

説明に先立ちまして、令和6年1月1日に発生した能登半島地震でありましたが、240余名の犠牲者であると報じられているところであり、亡くなられた方々の御冥福をお祈り申し上げますとともに、その御家族や被災された方々に、心よりお悔やみとお見舞いを申し上げます。

また、宮城県からの対口支援として、本町では石川県能登町へ2名の職員が1月21日から26日の間、被災状況確認、家屋等被害調査や罹災証明発行事務など被災地のニーズに合わせた支援を行っており、今後も被災地への人的支援を継続してまいります。

今回の能登半島地震による被害の甚大さを本町としても重く受け止め、改めて自然災害の恐ろしさを実感しているところであり、東日本大震災や豪雨災害等の記憶を風化させないよう、防災減災に引き続き取り組んでまいります。

さて、本町を取り巻く情勢に目を向けますと、新型コロナウイルス感染症が感染症法上において、5類へ移行となったことにより、町内におきまして、これまで規模の縮小や中止を余儀なくされていた、町民ふれあいスポーツ大会、日本三景の日記念事業、文化観光交流まつりや産業まつりなどの各種イベント等が4年ぶりに制限なく再開されるなど、町にも賑わいが戻りつつあることを実感しているところであります。

一方、依然として世界情勢が大きく揺れ動いている状況下において、本町ではエネルギー価格や物価の高騰が続いており、国による物価高騰対策等の各種支援施策が講じられているものの、町民のくらしや町の経済に今も強く影響を及ぼしている状況であります。

このような中、私といたしましては、昨年の9月より3期目となる町政運営を任されているところであり、改めて身の引き締まる思いでありますとともに、引き続き全力で町政運営に取り組んでまいります。

本町では「活カあるまち・松島」の実現に向け、「定住」、「子育て」、「交流」の3つを長期総合計画の重点戦略とし、各施策を展開しているところであります。

その中で、「松島イノベーションヒルズ」の整備につきましては、2月から樹木伐採などの準備工に着手したところであります。

この産業拠点の形成により、新たな企業の進出や産業の更なる活性化に加え、働く場や関係人口の創出にも繋がります。3つの重点戦略の基盤となる重要な施策であると捉えておりますことから、令和6年度におきましても引き続き強力強く推進してまいります。

また、再生可能エネルギーを地産地消する「マイクログリッド」を取り入れた計画としており、町が目指すゼロカーボンシティにも大きく寄与するものと期待しております。

なお、特別会計予算につきましては、3.5%の減となり、公営企業会計予算につきましては、水道事業会計では18.0%の減、下水道事業会計では3.4%の減で編成しております。

令和6年度以降も厳しい社会情勢が続くことが見込まれる中において、地方自治体の行政運営は柔軟かつ多様化が強く求められていることから、我が町におきましても、部署や役職の枠組みにとらわれず、役場職員が一丸となつて本町行政運営に取り組んでいくことと併せ、議員各位並びに町民の皆様との協力を賜りながら、全町一体となつたまちづくりを展開してまいります。

のと期待しているところであります。

併せて、企業誘致により期待される従業員等の新たな雇用や定住につきましても、更なる充実を図っていく必要がありましますことから、新たな土地利用計画につきまして、宮城県と協議を進めていくとともに、これまで実施している本町の移住・定住促進施策である、町独自の定住補助金事業や若年層へ向けた移住支援金につきましても、継続して実施していくことで、「住み続けたい。住んでみたい。」と思わせる、「選ばれるまち」の実現を目指し取り組んでまいります。

また、昨年の4月には新しい子育ての場として「認定こども園松島めぐみの森」が開園し、園児達が毎日豊かな自然環境に囲まれながら、元気に園庭を駆けまわる姿を見ることができ、本町の子育て環境の向上が図れたものと実感しているところであります。

引き続き、町立保育所と幼稚園の再編計画を進めていくとともに、今後の町内における学校施設のあり方についても検討し、子ども達が心身ともに健やかに成長できるよう、常に子どもの目線に立った環境づくりに取り組んでまいります。

本町における自治体DXにつきましては、本年度に設置した「デジタル推進室」を中心として、「いつでもどこでも」「手軽に」スマートフォンで暮らしやすいまちを掲げ、令和5年度は特にスマートフォン教室を中心としたデジタルデバイス対策と情報セキュリティ体制の強化に取り組むとともに、今後のDX課題の調査や、導入候補となるサービスのトライアルなどを通じた評価を実施してまいります。

令和6年度におきましては、より具体的にDXを実現していく段階となるため、人に優しいデジタル社会の構築を目指し、適切な手法を選択しながら、引き続き「町民の声にこたえるDX」に取り組んでまいります。

このような状況の下、令和6年度から令和7年度にわたり、次期松島町長期総合計画の策定を進めてまいります。



最後に、令和6年度における本町の財政の見通しであります。新型コロナウイルス感染症の感染拡大による地域経済への波及効果が目に見え、社会情勢を背景とした経済の先行きの不透明さは依然として継続しており、税収の予測がしにくい状況であります。

また、人件費や社会保障関係経費の義務的経費や公共施設の維持管理経費に加え、エネルギー価格の高騰などを背景とした各経費の増加が避けられない中、「保健福祉センター大規模改修事業」及び「都市計画道路根廻・初原線道路整備事業」において多額の事業費が見込まれており、これまで以上に厳しい状況が予想されます。

これらのことから、限りある財源において将来にわたり健全な財政運営を進めるためにも、今一度全職員が現在の財政状況を認識し、財源の確保、経費の見直し及び事業の選択と集中によるスリム化・重点化を図るとともに、新たな財源確保についても引き続き横断的な連携の下、積極的に取り組んでまいります。


また、国や県の動向を注視し、新たな補助制度の創設や制度改正についても積極的な情報収集を行い、事業の財源確保に努めてまいります。

このような状況の下、令和6年度予算案における一般会計の予算規模は、前年度と比較して、4.3%の減で編成しております。



松島町長 櫻井 公一

## 令和6年度に実施予定の主な事業をご紹介します

<p><b>新たな100年に向け、始動</b> <b>長期総合計画策定事業</b></p> <p>町民の声を取り入れた「ひと」が集う賑わいの「まち」となる、明るい未来への道しるべとなる長期総合計画の策定を行います。</p>	<p><b>充実した移住・定住支援を提供</b> <b>移住・定住促進事業</b> <b>出会いサポート・新婚世帯応援事業</b></p> <p>定住補助金、移住支援金と併せ、出会いサポートや新婚世帯応援など、幅広い世代に向けた支援を実施します。</p>	<p><b>効率的で誰もが利用しやすい運行</b> <b>町民バス運行事業</b></p> <p>利便性の向上を目的として、町民バスの運行状況をスマートフォン等で確認できる「バスロケーションシステム」の導入を行います。</p>
<p><b>学校教育施設の防犯対策</b> <b>町立学校防犯カメラ設置事業</b></p> <p>子どもたちが安心して学校生活を送れるよう、各小中学校に防犯カメラを設置します。</p>	<p><b>町民の声にこたえるDX</b> <b>デジタル推進事業</b></p> <p>町民の利便性の向上と業務の更なる効率化を図るため、マイナンバーカードや免許証で申請手続きが可能となる窓口DXを行います。</p>	<p><b>長期間安心して利用できる施設</b> <b>保健福祉センター大規模改修</b></p> <p>保健福祉センターを長期的に安心して利用できる施設とするために、令和7年度まで大規模改修工事を行います。</p>
<p>施政方針の全文については、下記をご覧ください。 町ホームページ URL : <a href="https://www.town.miyagi-matsushima.lg.jp/index.cfm/7,38721,18,466.html">https://www.town.miyagi-matsushima.lg.jp/index.cfm/7,38721,18,466.html</a></p> 	<p><b>出産・子育てを望む方を支援</b> <b>不妊治療費助成事業</b></p> <p>出産・子育てを望む方の経済的負担を軽減するため、一般不妊治療及び生殖補助医療の自己負担分についての助成を新たに実施します。</p>	<p><b>子ども家庭センターによる支援</b> <b>子ども家庭センター事業</b></p> <p>妊娠期から子育て期にわたるまで、切れ目のない支援を図るため、「子ども家庭センター」を設置します。</p>